

もくじ



今月の表紙  
『大村呉服店』

事業所データ

◆代表者  
大村 昌宏

◆所在地  
加古川市加古川町篠原町21-8  
カピル21 2F

◆電話  
079-422-5191

◆表紙写真

- ①店舗はヤマトヤシキ2階、エスカレーターを上がってすぐ右手に代表の大村昌宏さん(右)、息子の慎太郎さん(左)
- ②訪問着、付け下げも色々な柄を扱っています
- ③お宮参り用の晴れ着もあります
- ④⑦着物だけでなく、和装小物も多数取り揃えています
- ⑤⑥着物に関することはお気軽にご相談ください!
- ⑧老若男女に人気の手作り半纏(はんてん)

1 年頭のごあいさつ 加古川商工会議所 会頭 釜谷 和明

2 新年ごあいさつ 加古川市長 岡田 康裕

4 特集 年男・年女に聞く ～今年の抱負～

9 エッセイ 「縁起」  
大山環境整備自動車(名)  
代表社員 松野 剛 さん

11 会議所のうごき 紅葉の大江津・宇治を満喫  
- 会員交流バス旅行を開催 - 他

13 団体だより 異業種交流会・環境保全研究会・青年部・女性会

15 謹賀新年名刺広告

20 会議所からのお知らせ 年末調整のお手伝い 他

20 会議所カレンダー 「今月の“こんな日”」

ご覧ください加古川商工会議所のホームページ <https://kakogawa-cci.or.jp/>



今月の表紙にご登場いただいた大村呉服店は、代表の大村昌宏さんの父(一雄さん)が約70年前に自宅を店舗として事業をスタートし、昌宏さんも高校卒業後から手伝うようになりました。その後は駅前市場前に出店。そこつ・ヤマトヤシキへと店舗を移しながらも、親子三代にわたって一貫して着物や和装小物を扱っています。その長い歴史の中で、昌宏さんは「まじめにコツコツと丁寧な仕事」を信条に、多くのお客様からの信頼を築いてきました。

しかし、時代の流れとともに、かつては数多くあった呉服店も減少し、着物離れが進む中で変化を余儀なくされました。それでも伝統を大切にしながら、お客様のニーズにこころを注ぎ努力を続けています。例えば、着物や反物だけでなく、和装小物や肌着、寝間着などの衣類・着物雑貨を積極的に展開し、呉服店としての枠を超えた親しみやすさを提供しています。

特に大村呉服店が仕入でこだわっていることは、日本製商品の取り扱いです。この寒い季節には「久留米の手作り半纏(はんてん)」が人気。中綿が入っているので、暖かく着心地も良いこの商品は、老若男女を問わず支持されています。また、昔ながらの呉服文化も大切にしており、母親や祖母から受け継いだ着物を活用する提案も行っています。さらに、お宮参りの熨斗目(祝着・のしめ)を七五三の着物へ仕立て直しなど、お客様の大切な思い出に寄り添うサービスも特徴です。

地域密着型の呉服店として、「お客様に求められるモノを置く」という姿勢は、大村呉服店の魅力そのものです。着物や和装小物についての相談はもちろん、普段使いの衣類や雑貨を求めて立ち寄る方もおられます。経営者や従業員の皆さま、着物や和装小物に関するご相談やお探しの商品がございましたら、ぜひお気軽にお立ち寄りください。